令　和　５　年　４　月
板橋区立志村第二中学校
保　護　者　会　資　料

学習評価について

学習指導要領にある各教科の目標に対する達成度をみる「目標に準拠した評価」で、学期末及び学年末に生徒・保護者に、(1)「観点別学習状況評価（観点別評価）」及び(2)「評定」の２つをお示しします。

〔１〕観点別評価

各教科の学習状況を多面的・多角的に見るために、3 つの観点でそれぞれ、Ａ・Ｂ・Ｃの 3 段階で評価します。

観点	評価する内容
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。
思考・判断・表現	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のための必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかどうか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。

Q：何をもとにして評価するのですか？　定期考査の点数が 100 点でも「Ａ」にならないことがありますか？

Ａ：「定期考査の点数で成績が決まる」というのは間違いです。テスト以外にもノートやワークシート、制作物、授業中の取組状況など、様々な資料（評価材料）を用いています。テストが 100 点でも、それは一つの評価材料に過ぎませんので、他の評価材料の学習状況が不十分な場合、合算しても「Ａ」には至らないということがあります。

Q：どのようにＡ・Ｂ・Ｃが決まるのですか？

Ａ：各教科で学習内容ごとに、目標を設定しています。その目標に対する達成度に応じてＡ・Ｂ・Ｃの評価をします。

達成率	評　価	
80％以上	十分満足できる	Ａ
50％以上 80％未満	概ね満足できる	Ｂ
50％未満	努力を要する	Ｃ

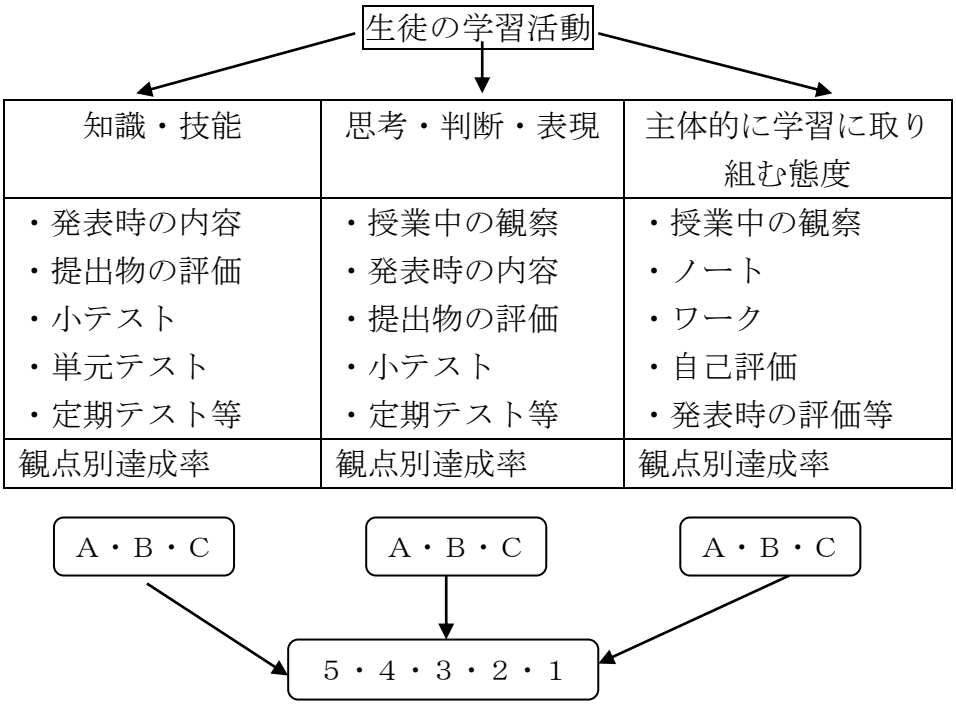
〔２〕評定

３つの観点別評価の結果を基にして、総合的な達成度を、５・４・３・２・１の５段階の数値で表したものです。

Q：どのように５・４・３・２・１の評定が決まるのですか？

A：観点別評価の際に算出した達成度の平均値を求めることで５段階の評定を行います。

達成率	評　定	
90%以上	十分満足できるもののうち、特に高い程度のもの	5
80%以上 90%未満	十分満足できる	4
50%以上 80%未満	概ね満足できる	3
20%以上 50%未満	努力を要する	2
20%未満	一層努力を要する	1



Q：観点別評価がすべて「A」なのに、「５」にならないこともあるのですか？

A：評価Aとなる達成度は 80%以上、評定５となる達成度は 90%以上ですから、全ての観点別評価がAだとしても、5にならないことはあります。

【すべて「A」でも「５」にならない場合の例】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点／満点	８２／１００	８４／１００	４３／５０
観点別達成率	８２%	８４%	８６%
観点別評価	A	A	A
教科の達成率	（８２＋８４＋８６）÷３＝８４%		
教科の評定	4		

３．各教科等における目標と評価の観点

＜国語＞

１　教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 社会生活における人とのかかわりの中で伝える力を高め、思考力や想像力を養う。

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化にかかわり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

２　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について、その特性を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言葉感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
評価方法	・発表時の内容 ・提出物の評価 ・小テスト ・単元テスト ・定期考査 など	・授業中の様子 ・発表時の内容 ・提出物の評価 ・小テスト ・定期考査 など	・授業中の観察 ・ノート ・ワーク ・自己評価 ・発表時の評価 など

＜社会＞

１　教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての資質･能力の基礎を育成することを目指す。

(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

(2) 社会的事情の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会の事象について､よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2　評価の観点の趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめている。	社会的事情の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会の事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	定期考査の知識・資料問題 小テスト 課題の内容	定期考査の思考問題 小テスト 課題の内容	ノート提出 授業中の発言・態度 課題の内容 課題の発表の仕方

＜数学＞

1　教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。

(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したり技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付いている。	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価方法	定期考査 単元テスト 小・中テスト	定期考査 単元テスト 小・中テスト	ノート ワーク 課題プリント 学習自己評価カード 定期考査 単元テスト・小・中テスト

＜理科＞

1　教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期考査 単元テスト 小テスト 実験・観察の計画的な実施 ワークシート パフォーマンステスト (実験の基礎的操作)	定期考査 単元テスト 小テスト 実験・観察 ワークシート	ワークシート 課題 発表 自己評価 授業中の観察

＜音楽＞

1　教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的に見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	定期考査 実技試験 観察	定期考査 観察 ワークシート ワーク 記録カード	ワークシート ワーク 記録カード 観察

＜美術＞

1　教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・作品 ・アイデアスケッチ ・ワークシート	・定期考査 ・作品 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・鑑賞プリント	・活動の様子 ・ワークシート ・ポートフォリオ

＜保健体育＞

1　教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として据え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・実技テスト（単元ごと） ・観察	・定期考査 ・観察 ・レポート内容 ・学習カードの振り返り	・学習カード ・ワーク（保健体育ノート） 学習カードへの取り組み ・観察

＜技術・家庭＞

1　教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 生活や技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活や技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査 ・作品 ・実技テスト ・課題レポート ・ワークブック、ノート	・定期考査 ・プリント ・課題レポート ・ワークブック、ノート	・授業観察 ・提出物 ・ワークブック、ノート

＜外国語＞

1　教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト ・スペリングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシート	・定期考査 ・小テスト ・授業での観察 ・パフォーマンステスト	・授業での観察 ・学習カード ・ワーク、ノート、レポートなどの提出物 ・パフォーマンステスト

＜道徳＞

１　教科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断、心情、実践意欲と態度を養う。

＜総合的な学習の時間＞

１　目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的に・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

２　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的に・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

＜特別活動＞

１　目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上に必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団生活を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上に必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自己実現に必要となる情報及び方法を理解している。 よりよい生活を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技術を身に付けている。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践している。 主体的に人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。